



不朽の名作が この春御船で蘇る

第19回御船町子ども英語劇場

カルチャーセンターで4月28日、御船町子ども英語劇場が上演される。今年は、不朽の名作として知られる「赤ずきん」を町内の小中学生が演じる。今回は、英語劇場の見どころを取材してみた。

本 劇場は、英語への親しみ、子ども同士のふれあいを目的とした町自主文化事業で、今年で19回目を数える。県内では、本町と九州学院中学校が取り組んでいる。

きっかけは、今から約20年前にモンタナ州出身のALT(外国語指導助手)を受け入れて、英語教育を導入したことに始まる。同州には世界的にも有名な「ミズーラ子ども劇場」があり、ALTが橋渡し役となって、本町に英語劇場がスタートした。毎年、ミズーラ子ども劇場の団員が来町して、御船の子どもたちに舞台稽古や演技指導を直接行ってきた。以来、英語劇場が御船の地で着実に根付いていった。

そして今年、劇の対象年齢層を小学1年生から中学生までに拡大。出演者は51人と過去最多を記録した。低学年層を出演させることで、劇に花を添えるのが狙いだ。また、高校生や平成音楽大学生がボランティアに名乗りを上げ、英語指導やピアノ伴奏を引き受けて、劇は総勢70人を越える大所帯となった。

英 語劇場の練習は、2月15日から始まっている。週1回2時間のレッスン。キャストは、主役の赤ずきんをはじめ、ロビンフッド、3匹の子豚など、ユニークな全11種類。役柄は年齢によって決められている。子どもたちは出演グループごとに分かれて、台本を片手にセリフを頭に叩き込んでいた。春休み期間中には休日返上で、ALTのエリック先生に直接指導を受ける子どもたちの姿もあった。本番に掛けるひた向きの姿勢には感心させられる。

4月23日からは、ミズーラ子ども劇場の指導者が本番前の舞台練習に5日間あたる。一体どんな劇が幕を開けるのかは、当日会場に足を運んだ観客だけが分かるだろう。ぜひ、その目で確かめてもらいたい。



1



2



3



4

1_毎週1回、カルチャーセンターで英語のレッスンを受ける小中学生の出演者
2_グループに分かれてセリフの練習
3_練習の合間にALTや高校生と談笑する子どもたち
4_春休みにエリック先生に個人レッスンを受ける熱心な小学生たち



ボランティアで英語指導を行う御船高2年
吉永晴香さん(辺田見・右)
菅 成美さん(高 木・左)

私も小学6年の時、劇に出演しました。子どもたちはみんな元気がいいです。英語の上達は個人差があっても、みんなには「劇に出て楽しかった」で終わってほしいと思います(吉永)。

来年の夏にホームステイする予定で、語学力がつけばと参加しました。発音を重点的に指導しています。本番までに、セリフを覚えた子が周りの子を教えていけるような雰囲気をつくっていけたらと思います(菅)。



英語劇を指導する
エリックさん(モンタナ州ミズーラ市)

今年の劇「RED Riding Hood」(赤ずきん)は、ミズーラ英語劇のストーリーです。私も子どもの頃、英語劇に出演しました。英語指導は、上益城郡内のALT、高校生、大学生、高校や英語塾の先生、保護者がボランティアで教えています。指導者がたくさんいて助かります。御船の子どもたちは、とても元気。演技を恥ずかしがらずにやります。いい子どもたちです。英語劇を見た人はずっと忘れられないと思います。ぜひ、見に来てください。



あらいぐまたち役を演じる
藤田真衣さん(高木小3年・左)
角矢 凜さん(御船小2年・中)
其川琴美さん(七滝中央小3年・右)

初めて劇に参加しました。英語に興味があったから(藤田、其川)。私はお母さんに勧められました(角矢)。あらいぐまたち役は7人で演じます。一人だけのセリフ、みんなで歌うところがあります。練習は、ほかの小学校の人とお友達になれて楽しいです。英語は難しいけど、みんなと一緒に練習してうまく話せるようになりたいです。ちゃんとセリフを覚えて、声をそろえて、お客さんに劇を見てもらいたいと思います。



女の友情隊役を演じる
吉田あすかさん(木倉小6年)

友達が英語劇場に出演して楽しそうだったから参加しました。女の友情隊は、赤ずきんちゃんのお友達役です。一人でいうセリフや、低い声を出すところが難しいです。だから家に友達をよんで一緒に練習しています。英語だから見ている人は分かりづらいと思うから、表情を楽しんでももらえるように頑張りたいです。去年の劇はみんなの前で恥ずかしかったけれど、今年は感情を入れて、自信を持って演技したいです。



レンジャールーニー役を演じる
永野あいりさん(木倉小6年)

ちょっとくらい英語が話せたらいいなって思って参加しました。レンジャールーニーは、森を守って、オオカミに冗談を言ったりする役を3人で演じます。英語は、しゃべりなれてなくて発音がとても難しいです。家でも練習して、お父さんに台本を見て聞いてもらっています。本番は、家族が見に来てくれます。だから、自分のところは完璧に話せるようにして、悔いが残らないように、素敵な演技を披露したいです。



赤ずきん役を演じる
中島杏菜さん(御船中1年・左)
高瀬夏葵さん(御船中2年・右)

友達に勧められて初めて参加しました(中島)。私は学校からプリントをもらって(高瀬)。赤ずきん役は前半ごとに演じます。見どころは、家族と赤ずきんの会話、おばあちゃんを助けるためにカギ屋やオオカミとの会話、赤ずきんのピュアな部分です。練習では台本を見て役のイメージを膨らませています。セリフを覚えるのは大変だけど、見に来てくれる人に、表情や雰囲気を出して、分かりやすい演技をしたいです。

「赤ずきん」

御船町子ども英語劇場

《公演日》

4月28日[土]

《時間》

18時00分開場

18時30分開演

《場所》

カルチャーセンターホール(492席)

《入場》

無料。全席自由

《問い合わせ》

教育委員会 社会教育課

☎282-0888